

お知らせ



利用者年会費の見直し

今年度の総会で、出席者から「利用者が新規に利用する時の負担軽減」についてのご提案がありました。

ハンディキャブ委員会～理事会で検討した結果、利用者からいただく年会費について、次年度より改定すること（下記）を決めました。

《新規利用時の負担軽減策》

1. 改定内容

現在「入会金 1,000 円、年会費 1,000 円」ですが、新規入会者の年会費を初年度のみ廃止

2. 目的

新規入会時の負担軽減と、年度途中入会の不公平是正

運転者講習のご案内

新たに、当協会のハンディキャブ活動（移送援助活動）に参加を希望される方は、この「運転者講習」の修了資格が必要です。受講費用の助成制度を利用できます。

下記の連絡先までお電話ください。

国土交通省認定

福祉有償運送セダン等運転者講習のご案内（主催者団体の募集広告より）

<日時>

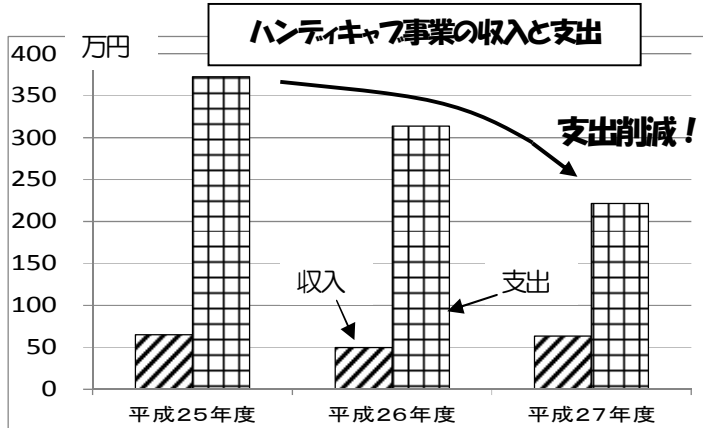
7月16日(土)及び17日(日)
10時～16時20分

<場所>

NATC 日産先進技術開発センター
厚木市森の里青山1-1
(小田急線「愛甲石田」駅より
バス20分)

連絡先：ハンディキャブ委員 井上
042-715-0989

ハンディキャブ事業の支出、大幅削減



ハンディキャブをより

去る五月十五日に行われた「相模原ボランティア協会通常総会」において、吉留副会長から当協会の財政収支について『昨年（平成二十七年）の赤字の数字が一桁違つただけに減っていることは特筆すべき（後略）』（ぼらんていあ通信No.414より引用）との報告がありました。

この「収支改善」に向けて、ハンディキャブ事業（移送援助活動）においても平成二十六年より次のような支出削減策を実施してきました。

- 《平成二十六年八月》連絡所の統合
- 《平成二十七年八月》「セダン方式」運行の開始
- 《 》 九月《 九号車の廃車

その結果、ハンディキャブ事業における平成二十七年の支出を、平成二十五年に比べ「約百五十万円」削減させることが出来ました。これは全て皆様の「理解・協力」のお陰です。

※上記統計は、当協会「会計報告」のデータを引用しました。

仲間

困っている人をほっとけ ないで

市川明子

この度運転者として参加しました市川です。二月～三月に行われた「傾聴活動入門講座」を受講して、ハンディキャブを知りました。五十年以上に免許を取って以来、車を乗るのが大好きなのでこの活動に参加することを決めました。二十八年前から昨年まで大きな手術を二回経験しました。何とか克服できたのも、周りの皆様のお陰です。「生かされている」「お世話になった皆様」「恩返しをしたい」「困っている人を見ると放っておけない」という思いがますます強くなりました。

現在、市の「健康づくり普及員」、橋本公民館での「女性学級」「杜の学級」はしもとスマイル講座」の実行委員、いるかバンクなどの活動に参加しています。娘から「自分が面倒みてもらう歳なの」と、いつも言われていますが・・・。趣味は「車の運転」とガーデニング（花作り）です。皆様、よろしくお願ひ致します。